

魔法のダイアリー プロジェクト 活動報告書

報告者氏名：鴨川祐子

所属：長崎市立諏訪小学校

記録日：2019年2月8日

キーワード：コミュニケーション・言葉の表現・感覚過敏・興味や関心・やり取りができる喜び

【対象児の情報】

○学年 第2学年

○障がい名 ・自閉症 ・軽度知的障がい ・注意欠損多動性障がい

○障がいと困難の内容

- ・言葉の意味理解に困難さがある。
- ・自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えることができない。
- ・自分の考えや行動が思うようにならない時は、不安が高まり混乱したような様子を見せることが多い。
- ・体の動きがぎこちなく、姿勢の保持、身体のバランス力、手指の巧緻性、身体の使い方に課題が多い。感覚刺激に対する反応性の問題も多い。

【活動進捗】

- ・当初のねらい（計画書の学習目標）と活動による方向性の確認状況
- 1 伝わる言葉を増やし、安心して学校生活を送ることができる。
- 2 習得した言葉を使いながら、誰とでも楽しくやりとりをすることができる。
- ・実施期間 平成30年4月～平成31年2月
- ・実施者 鴨川祐子
- ・実施者と対象児の関係 特別支援学級 担任

【活動内容と対象児の変化】

○対象児の事前の状況

【読むことについて】

- ・1年生の頃は、ひらがなやカタカナや漢字の一部は読むことができた。2年生になり、徐々に読める文字が増え、1年生の教科書や2年生の教科書の一部の音読などは、スムーズに行うことができるようになってきた。音読した文の内容については、理解していないことが多い。

【書くことについて】

- ・文字を書くことに対しては、あまり興味を示さず、鉛筆を持つことも嫌がり、書こうとしない。

【話すことについて】

- ・話すことは大好きで、興味のあることや知っていることは、表現したいという思いが強いが、一方通行であり、会話が成立しない。

【行動について】

- ・集団行動が難しく、全校での集会や行事は、予定したできるところまでを行い、個別に対応してきた。交流学級の授業に参加することも、難しいことが多い。
- ・行動のコントロールが苦手な場に応じた行動をとれない。
- ・長崎バス、トーマス、カーズ等、車が大好きで、いつも運転手になり学校中を駆け巡りながら、活動したり話したりしている。心を開いている先生や友達には、自分の仲間として名前を付けて呼んでいる。
- ・iPadが大好きで、興味関心を持って学習に取り組むことができる。家庭でも、タブレットを使って、ゲームをしたり、好きなことを調べたりしている。

○活動の具体的内容

1 伝わる言葉を増やし、安心して学校生活を送ることができる。

【 取組1 】 「日本一の長崎バスの運転手になろう」「カッコいいトーマスになろう」という目標を立て、自分の力を向上させるための取組



・運転手さんの仕事や心構えなどについて、「keynote」を使って紙芝居で見たり、バス見学に行ったことをまとめたりすることで、伝えたいことを言葉で表現したいという気持ちを高める。

【 取組2 】 言葉を習得するための取組

話を聞く、言葉を理解する・表現する力をつけるために

・下記のアプリを選択した理由は、大好きな長崎バスやトーマスに関する多様な言葉の学習をすることで、モチベーションを上げる・継続するためである。

【聞く力・理解する力】

「animatope」⇒擬音語・擬態語



を自分で考え、音にして表現する。

「DropTalk HD」⇒スケジュール



・言葉遊びを音声とイラストで確認する。

「HIRAGANA」⇒ランダムに



並んだ言葉を並び替えて、正しい言葉にする。

「にほんご-ひらがな」・「にほんご-カタカナ」・「ひらがな_たんご」・「hiragana-tango2」



「もじさがし」



「もじたん」



⇒文字の練習やクイズ、ゲーム等で言葉に親しむ。

【表現する力】

「一年生の漢字」「筆順辞典」⇒興味を持って漢字に



親しむ。

「筆談パッド」⇒教師や友達と言葉の伝え合いをす



ることで、ゲーム感覚で楽しさを味わう。

「DropTalk HD」⇒構文、感情表現や状況等の言葉を具体的な場面と関連させてわかりやすくする。



「えにっき」⇒写真、本人が得意な50音キーボード入力を使って映像記録に残すことで、エピソードを想起する。



「SimpleMind+直観的なマインドマップ」⇒お題を決めて、創造し言葉を選び広げる。



「ByTalk for School」⇒文字やイラスト・スタンプ等を使ったり、画像やデータを取り込んだりしながら、思いを伝える方法を知り、使う。



体や心の安定のために

- ・自分の体や心の状態に気づき、コントロールする力をつけ、安心して生活を送ることができるようにする。
【自分のことを確認する】

「keynote」⇒体幹や口腔機能を保つためのトレーニングの手順を見ながら体や口の動きを確認する。



「NHK for School」⇒ルールやマナー等、心の持ち方について学ぶ。



「はみがき勇者」⇒勇者になりきって、楽しみながら歯を磨く習慣をつける。



「カメラ」⇒鏡や写真、動画を使って、服装や身だしなみをチェック、顔の筋肉トレーニングやなりきりトレーニングで表情づくりをしたりすることで、自分を認める。



2 習得した言葉や自分で描いた絵やコメント、撮った写真・動画を使った情報ツールを用いて、誰とでも楽しくやり取りをすることができる。

伝え合う機会を増やすために

- ・言葉ゲーム、クイズ、インタビュー等を行うことで、聞くことや話すことの経験を積む。
- ・習得した言葉を使って話す場所や機会を設定し、経験を重ねることで自信をつけていく。

伝えたい相手に自分の言葉や文字等で伝えたり、質問したりすることができるために

○自分の学級・交流学級で

「ロイロノート」「keynote」⇒写真を撮影したり、テキストで記入したりしながら、作品作りを行う。



○担任・交流学級担任・学年主任との伝え合い

「ByTalk for School」⇒出来事や自分の気持ちや考えについて、文字や写真スタンプ等を使い、伝えやすくする。



○対象児の事後の変化

1 伝わる言葉を増やし、安心して学校生活を送ることができる。

【 取組1 】「日本一の長崎バスの運転手になろう」「かっこいいトーマスになろう」という目標を立て、自分の力を向上させるための取組

運転手さんの一日について、「Keynote」を使って紙芝居で見たり、長崎バスの運転席からの様子を「YouTube」で見たり、長崎バスのペーパークラフト・バス停・スマートカード・帽子を一緒に作ったりする



気持ちが高まり、意欲的にスタートすることができた。自分で作ったバスグッズを使って、友達と一緒に毎日運転を楽しんでいる姿が多く見られるようになった。

【 取組 2 】 言葉を習得するための取組

話を聞く、言葉を理解する、表現する力をつけるために

【聞く力・理解する力】

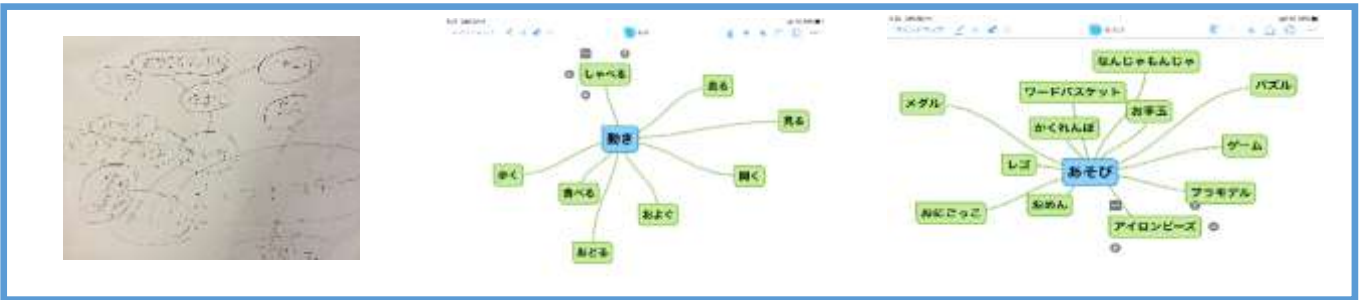
○一日の予定をチェックする際、「DropTalk HD」を使った。画像と音声により確認できたので、安心して一日がスタートできた。行事等で急な変更があったときも、受け入れることができるようになり、説明した後に、「わかった！」と毎回返事をしてくれた。



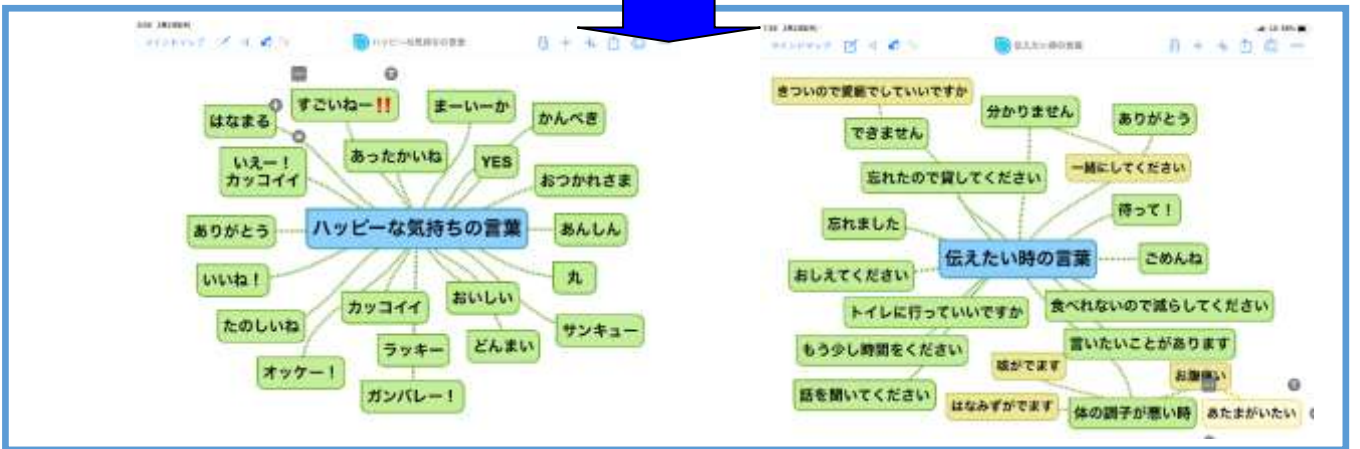
○「にほんご-ひらがな」「にほんご-カタカナ」「にほんご-たんご」は、カルタ形式・クイズ形式がある。視覚情報と音声・音楽でリズムカルに活動できた。言葉を思い出せるように、何度も繰り返し活動を行ってきたことを賞賛してきた。とても楽しんで取り組むことができ、集中して聞き、何度もやろうとしていた。

【表現する力】

○言葉マップ作りでは、お題を決めて、手書きで練習した後、「SimpleMind+直観的なマインドマップ」を使った。得意な五十音入力で行ったが、得意な入力の方法で行うと、これまで学んだことを想起しながらスムーズな書き込みができた。



4月〜手書きからスタートして、名詞を集める活動が主であったが、たくさん言葉を見つけることができた。



8月以降〜心を表す言葉・伝えたい言葉がわかるようになり、言葉を使って表現できるようになった。具体的な言葉を書き出すことで、自分から言葉で伝え、気持ちも楽になってきたようである。

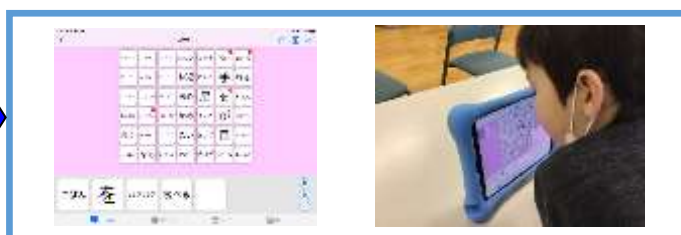
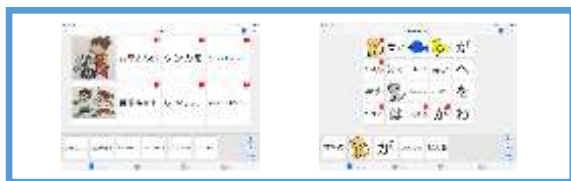
○文字を書くとき、漢字を使って書こうとする様子が見えたので、書きたい意欲を生かして「一年生の漢字」「筆順辞典」を使い、漢字の練習も行った。始点や終点がわかり、筆順もわかりやすい、何度も筆順を見ることができる等、練習の取り組みやすさに気づき、積極的に取り組み始めた。その後、ノートに書く時も、正しい筆順で書くことができ、とても喜んでいた。



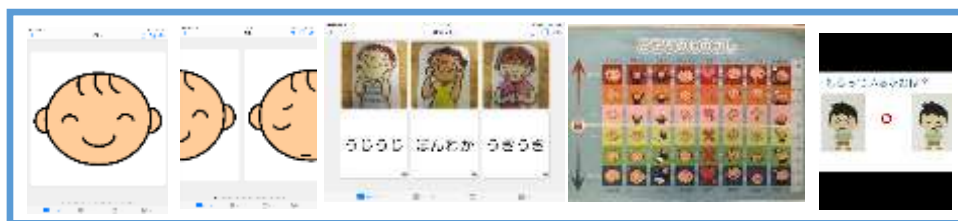
2学期後半から、漢字ドリルを使用し始めた。1年生上巻の漢字からスタートしたが、必ず毎日1ページ行い、現在1年下巻に取り組んでいる。1冊クリアできた時は、跳び上がって喜んでいた。

生活科のインタビューでは、家族から聞いたことを「自分で書きたい」と話し、練習した漢字を使いながら書くことができた。驚いたのは、習った漢字も自分の名前も筆順通りに正しく書いていたことだった。

○親しみやすいシンボルやイラストなどの視覚情報と音声に合わせて使うことができる「DropTalk HD」で、選択式の構文や選択式のテンプレートを使った感情表現や状況等の言葉について、表現する力がつくようにした。

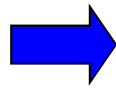


○多様なイメージをもち、言葉を想起しやすくなった。また、選択式の構文を行うことで、会話につながりやすくなった。言葉を選択して文章を作るだけでなく、間違ったところを見つけて訂正するなどにも、興味をもって行うことができた。



○具体的な場面と関連させてわかりやすくすることで、表現の仕方を知ることができた。感情や状況等を読み取ることが少しずつできるようになり、言葉にして表現することができ始めた。

○「えにっき」では、絵や写真を挿入し、本人が得意な50音キーボード入力を使って作ってきた。映像記録に残すことで、エピソードを想起でき、学校の活動で嬉しかったことやできたことについて、表現する活動に取り組み、伝える喜びを味わうことが少しずつできるようになった。



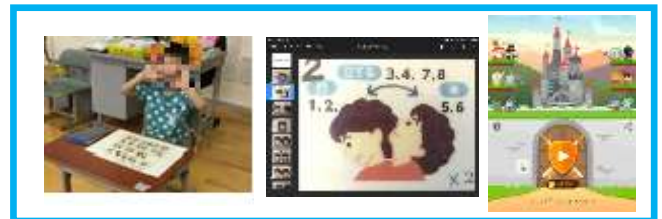
最初は、文章を入力するときに、文字よりも絵文字に興味を示し楽しんでいる。文章量は、多くはない。

体験したことや心に残ったことなどを具体的に表現し始めた。知識をヒントに文章を書くこともできていた。

体と心の安定のために

「自分のことを確認する」

○鏡や写真、動画を使って、服装や身だしなみをチェック、顔の筋肉トレーニング、体幹や口腔機能を保つためのトレーニングを「keynote」で行い、動画を見ながら、体や口の動きを確認した。「はみがき勇者」を使い、楽しく忘れずに歯磨きができるようにした。



○毎日継続してきたことで、言葉をはっきり発音したり、音読にもメリハリが出てきたり、給食の時間もよく噛んで食べることができるようになった。歯磨きも毎日忘れずに行うことができた。

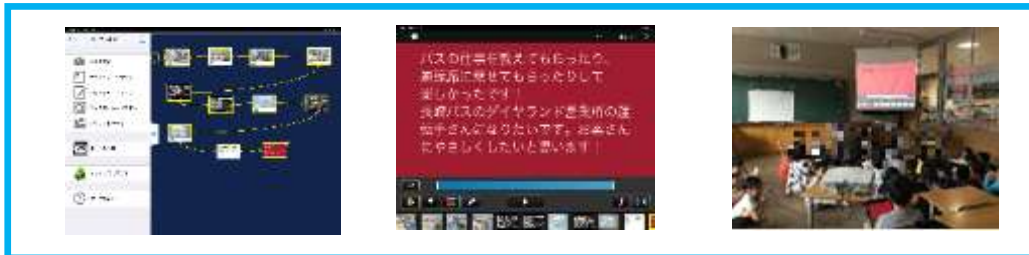
2 習得した言葉や自分で描いた絵やコメント、撮った写真・動画を使った情報ツールを用いて、誰とでも楽しくやり取りをすることができる。

伝え合う機会を増やすために

○「keynote」を使った言葉を伝えるゲームは、写真を見て、身体のポーズを説明し、友達にポーズをしてもらうものである。最初は、なかなか難しかったようであるが、わからない時は、ヒントを見て伝え、できるようになったら自分で考えて伝えるようにしたことで、楽しみながら学習をすることができた。伝えるためには、体の部位や様子を伝える言葉が必要なため、言葉の使い方やわかりやすい伝え方につながった。

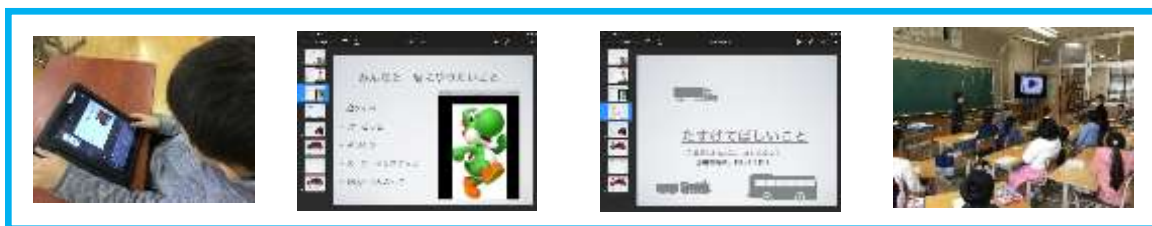


伝えたい相手に自分の言葉や文字等で伝えたり、質問したりすることができるために



○「長崎バス見学の発表をしよう」というめあてで、「ロイロノート」を使って、画像や動画を入れ込んで発表資料を自分で作った。ほとんどの作業を自分でやり、自分の声を録音したり、好きな動画を入れ込んだりして制作も楽しんでいた。運転手の一日という紙芝居も読み、長い時間かかる発表であったが、最後までがんばることができた。「長崎バス見学の発表」では、交流学級で発表するとき、少し緊張していたが、無事に終わることができた。クラスのみんなから「すごいね!」と言ってもらい、達成感を味わっていたようである。

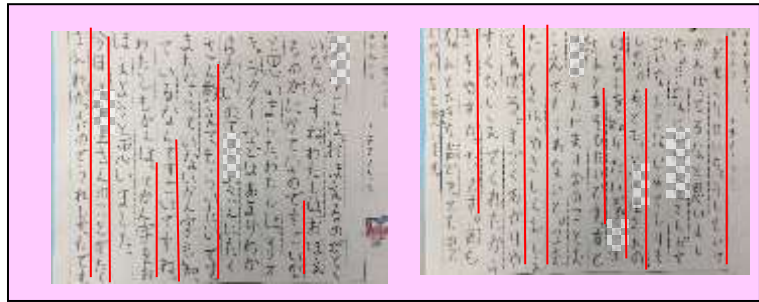
○自分のことをもっと理解してもらうために、「keynote」を使って「自己紹介」を作成し、交流学級で発表して聞いてもらった。



○「keynote」の操作もすぐに覚え、画像を入れ込みアニメーションを付けて楽しみながら活動できた。助けてほしいこと、みんなと遊びたいこと、2年生で楽しかったこと、3年生で頑張りたいことなどをスムーズに入力して完成させた。交流学級では、聞いてもらった後、感想を書いてもらうことで、みんなに伝わる喜びを感じることができた。質問に答えたり、良かったところなどを聞いたりして、自分の思いを言葉で伝えることができた。笑顔いっぱいになり、達成感を味わいとても喜んでいました。

〈 交流学級の友達の感想から 〉

○僕もマリオが好きなので、一緒に遊びたいです。○いろいろなことをたくさん覚えられるのすごいですね。今度いろいろ教えてください。○もっともっと仲よくしようね。OiPadの操作がすごく上手でびっくりしました。発表も上手で、Rさんみたいに発表できたらいいなと思いました。○漢字が読めるのがすごいですね。○1年生より成長していてがんばっているなあと思いました。○発表がすごくわかりやすく教えてくれたから聞きやすかったです。○長崎バスの運転手には絶対なれると思います。願いが叶ったらいいですね。○マリオのゲームが好きだとは、僕と一緒にですね。ORさんが、困っていたら優しく教えてあげます。ORさんのことがたくさんわかって嬉しかったです。もっと仲よくしようね。○どうしたら、そんなに覚えられますか。今度教えてください。



交流学級の友達全員から、感想を書いてプレゼントしてもらった。その一枚一枚を嬉しそうに読んだり、聞いたりしていた。よく理解できていないようなところは、読み聞かせると、「うん。」と言いながら、幸せそうな顔をしていた。

○「ByTalk for School」で担任・学年主任・交流学級担任との交流を行った。



○最初は、簡単な挨拶や報告が中心であったが、絵文字、スタンプを使い、画像や動画も入れながら、伝えることができるようになった。また、こちらからの質問に答えたり、自分から質問したりしながらやり取りをすることが増え、楽しくなってきたようである。やり取りしたことを次の日に話すことも増え、伝わることの喜びも感じている。交流学級の担任や学年主任ともやり取りをすることでお互いに話す機会が増えてきた。

【 報告者の気づきとエビデンス 】

○報告者の主観的気づき

- ・言葉を聞く、言葉を理解する、言葉で表現する経験が増えたことで、伝わる言葉を習得できたのではないか。
- ・伝え合う機会を増やしたり、伝えたい相手に言葉や文字等で伝えたり聞いたりしたことで、誰とでもやり取りができるようになってきたのではないか。

○エビデンス

1 伝わる言葉を増やし、安心して学校生活を送ることができる。

・iPad を使い、モチベーションを高める取組は、意欲向上に大変効果的であった。不器用で、書くことに抵抗があった本児にとって、記憶力の良さを生かしての言葉の学びは、言葉や言葉の関係を理解する上で有効であった。できることが増え、できた喜びを感じていくことで、自信につながり、その自信が意欲向上へと発展していった。

・活動したことや楽しかったことなどについて、50音キーボードやフリック入力を使うことで、言葉を組み合わせた文章を書きやすくなったり、画像を取り入れたり、音声情報で確認したりできたことで、イメージが増し伝わることの嬉しさを感じることができた。さらに、できたことを友達や先生方に伝えることで、書きたい・伝えたい・知りたい気持ちが増え、自分で連絡帳を書こうとしたり、交流学級での振り返りなどを文章で積極的に表現したりする姿が、多く見られるようになった。



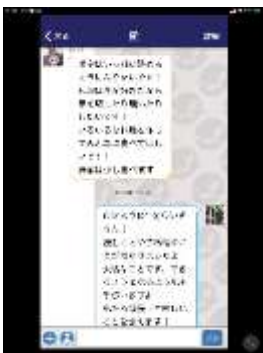
生活科で小さい頃の自分について、家族からのインタビューをまとめたり、それを伝えたりしたことも、一生懸命書くことができた。1日1枚書き、6枚を6日間で仕上げた。最後まで頑張ったのは、初めてである。



1学期始めは、文字がマスの中にも入らず、筆圧も弱く間違うことも多かったが、3学期の始めに書いたときは、丁寧に正しい筆順で書くことができた。漢字の練習も毎日行い、書くことができる字も増えてきた。

2 習得した言葉や自分で描いた絵やコメント、撮った写真・動画を使った情報ツールを用いて、誰とでも楽しくやり取りをすることができる。

・自分の考えや思いを、文字や画像等を使って伝えやすくなったことで、友達に伝えたいという気持ちが高まり、やり取りが増え始めた。また、画像や動画で、感情や気持ちの伝え方を学び、たくさんの経験をしたことで、友達の気持ちに寄り添う姿や思いやる言葉が出てきた。



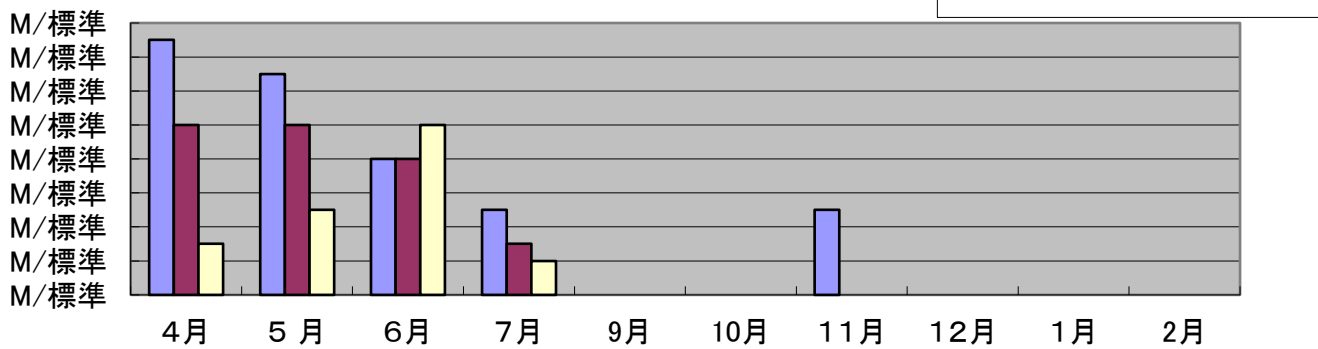
教師の質問に答えることができるようになってきた。自分の思いも具体的に表現できるようになった。

友達と話したり、帰る約束をしたりして嬉しかったことを伝えてくれた。

これまで、地域の行事に出ることは嫌がりほとんど参加できなかったが、餅つき大会やソーメン流しなどに参加し、とても喜んでいました。

○2つの取組が始まってからの不安による混乱状態の変化

不安の状態の変化



不安の状態は、下記のとおりである。

- 弱い・・・泣いて不適切な言葉を言う 中くらい・・・泣いて大きな声を出す
- 強い・・・泣いて大きな声を出し、暴れる

- 4月⇒緊張と慣れない環境を我慢 5月⇒運動会の練習で疲れが溜まる
- 6月⇒梅雨の蒸し暑さと交流学級での生活が苦しい 7月⇒交流を減らしていく
- 9月⇒不安による混乱は起こっていない 10月⇒不安による混乱は起こっていない
- 11月⇒学校行事等の時間割の変更等で、きつい状態であった
- 12月～2月⇒不安による混乱は起こっていない

・言葉を学ぶことで、自分で考えた言葉を使って自分の思いや気持ちを表現できるようになり始めたので、不安やストレスが徐々に減り、混乱しているような状態になる前に、自分で心のコントロールができていないのではないかとと思われる。

エピソードetc・・・

5年生とジャンケンゲーム！楽しかった！

今年をめあては漢字をがんばること！

楽しくはないちもんめ！

司会ができて嬉しかった。

いろいろな人と遊べるようになった！

感謝のお手紙を書きました。

漢字や文・絵日記が書けるようになった！

できることが増えて嬉しいな！

漢字の練習をがんばっています。

みんなと一緒にできるようになった！

グループで話し合ったよ。

一緒に話しながら帰るのが嬉しいです！

楽しみが増えたよ！

みんなで歌っています！

みんなと話すことが楽しいよ！

料理の本を見るのが楽しみです！

かけ算九九はばっちりです！

4年生がバスに乗ってくれました！

3年生を電車で乗せてあげました！

体位測定もできたよ。

体位測定もできたよ。

体位測定もできたよ。

○本人の行動から見られた安定した様子と言葉の変容

・「〇〇くん、持ってきてくれてありがとう。今度は僕が持ってくるね。〇〇ちゃんと遊んで楽しかったよ！」と周りの人がしてくれたことや自分がしたことを、言葉にして伝えることができるようになった。

・「校長先生が、〇〇していたよ。〇〇ちゃんは、歌が上手だね。」といろいろな学年の友達や先生と関わりをもつことができるようになった。

・「〇〇くん、今日も〇〇で遊んだ？ 〇〇ちゃんは、〇〇が好きだからね！」等話してもらったことは、よく覚えていて、その話を次の話へとつなぐことができ始めた。

・「今日の体育は何ですか？ 〇〇は、何時まですればいいですか？」と毎日のスケジュールを見て、不安なところは質問できるようになった。

・「漢字のドリルが全部終わったよ！ ゲームで優勝だよ！」「やったあ〜！」とジャンプ！するなど、嬉しいこと、楽しかったことなどを、言葉と身体で表現していた。

・「〇〇くん、今日、一緒に帰ろう？〇〇君も一緒にね。〇〇くんと帰って楽しかったよ。また、帰るよ！」と友達と一緒に帰りたいたいと言って、自分から友達に声をかけ誘っていた。友達と一緒に帰ることが楽しいと母親にも伝えていた。

・「〇〇くん、ありがとう。〇〇先生、ありがとうございます。助かりました。」と困って助けてもらったときは、必ずお礼の言葉を言うようになった。

・「校長先生が〇〇と言っていたよ。生活科頑張ったよ！お礼のお手紙書けたよ！〇〇を作ったよ！」と自分の行動を伝え始めた。全校朝会や交流学級への参加もできるようになり、自分で「頑張ったよ！」と教えてくれるようになった。

・「僕は、漢字を読んだり、書いたりできるようになりたいです。」「先生、この料理は、どうやって作るの？今度、一緒に作ろう！」「お姉ちゃんと一緒に〇〇を作りました！おいしかったです。また、作りたいです。」と話してくれた。目標の意味が分かるようになり、「漢字を書けるようになる」と「料理を作って野菜を食べられるように頑張る」という今年の目標に向かって努力をしている。書初めで「漢字」という文字を書き、読書には今まで興味がなかったが、料理の本を借りてきて「一緒に作りたい」と話すなど、楽しんで目標に向かう姿勢が多く見られた。実際、漢字ドリルを毎日一生懸命に書いたり、練習した漢字を書こうとしたり、家庭でたくさんの料理を作ったりしている。

このように、自分で言葉を表現できるようになり、やり取りを楽しんだり、多くの人と進んで関わりをもったりしながら、楽しい学校生活を送ることができている。

【 今後の課題 】

① iPad の効果的な利用・継続のために

○言葉を広げたり、会話のフレーズを増やしたりしていきながら、言葉のやり取りを楽しむことができるように iPad を有効に継続して活用し、学習の理解につなげたい。

○3年生から始まる理科や社会で、デジタルのノートテイクを学習に取り入れながら、自分に合った学習方法を選び、理解を高めていきたい。

②やり取りの相手をさらに増やしていくために

○学級や学校に発信していく機会を多くつくっていくことで、自分の活動への有効感をもたせて話すことに自信をつけさせたい。また、体験的活動を継続的に取り入れ、話の内容をイメージ化し、理解するためのスキルを身に付け、具体的な言葉を使いながら確実に応答できるようにしていきたい。

③安心して学校生活を送るために

○まだ、状況に応じて不安になることも多く見られるので、もっと心が安定していくように、気持ちや思いの表現方法を広げて、自己理解や他者理解ができるようにしていきたい。

○本児・家庭・学校との連携や情報交換は、大切にしていく。